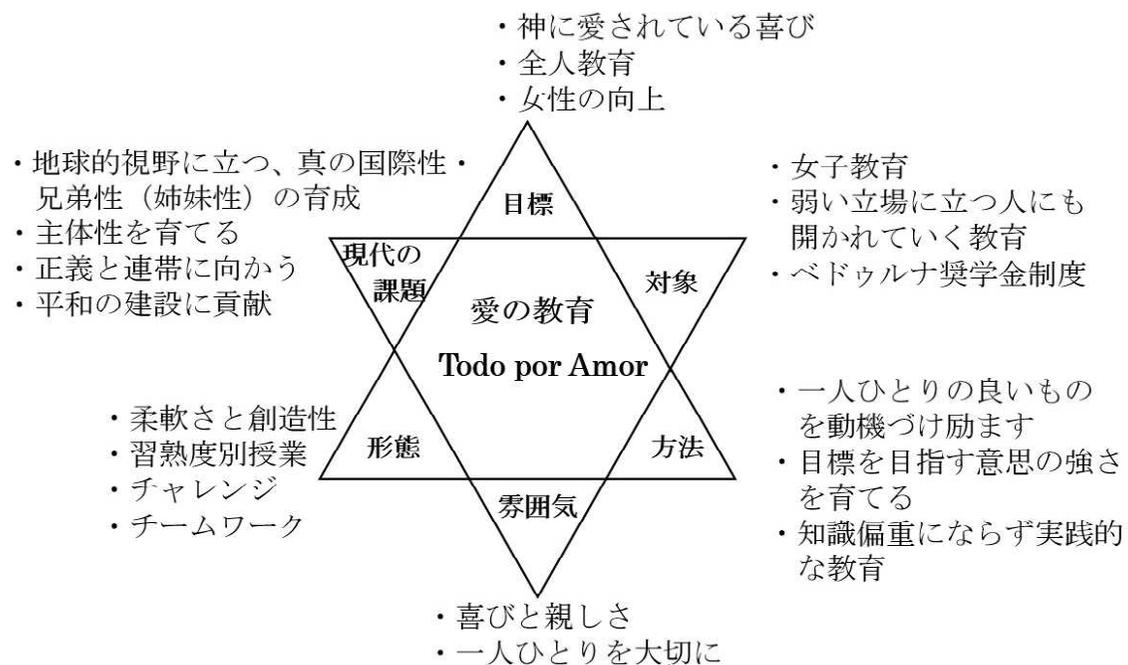


○ 今月のみことば

「あなた方を受け入れる人は、私を受け入れ、私を受け入れる人は、私を遣わされた方を受け入れるのである。」
(マタイによる福音10章40節)

このみ言葉はイエ様が弟子たちに言われた言葉で、『弟子たちを受け入れる人はイエ様を受け入れることになり、その人はイエ様を遣わされた方、すなわち、父である神様を受け入れるのである。』ということです。

先日、高校 3 年生に、「愛徳学園で受けてきた聖女マリアの『愛の教育』を、教育理念（下図）の面から体験的に振り返ってみる」ことを促し、ブレインストーミングと KJ 法を使ってまとめ、iPad で Keynote に作成してクラスでプレゼンテーションをし、学園祭では Keynote をテレビ画面で流しました。



生徒のプレゼンテーションを聴いて下さった方が、「聖女マリアの教育が学園の中にしっかりと根付いていますね。」とおっしゃって下さった時本当に嬉しく、また、感動しました。イエ様の弟子たちに次ぐ聖女マリア、マインからその精神をもたらし下さった最初のシスター方、

更にその後続くシスター方、洗礼を受けている・いないに関わらず最初の精神を今日に至るまで受け継いで下さった先生方の中に、今月のみ言葉の実現を見た思いがしました。この教育理念の上に立つ本校の Rainbow Program によって、生徒達がより多くの実をつけ、社会に巣立っていく事が出来ますようにと祈ります。



生徒の心に語り掛けたいこと

社会科 T・A

「羽衣(はごろも)チョーク」が好きです。肌ざわり、黒板にしっとり吸いつくような質感、強度・・・すべてが好きです。私は筆圧が強いので、ふつうのチョークでふつうに字を書くと、チョークがポツポツ折れたり、バツバツ砕け散ったりします。もはや、チョークを粉碎するために字を書いているのではないか、と思うくらいです。しかし、「羽衣チョーク」は折れません。ものすごく好きです。

しかし、現在、「羽衣チョーク」は生産されていません。2 年前に、「体調が悪く、後継者もない」などの理由で、羽衣文具の社長さんが廃業を決めたからです。赤・青・黄などの「羽衣チョーク」はまだ学校にたくさんありますが白の「羽衣チョーク」はもうほとんどありません。今、教室に白の「羽衣チョーク」があったら、それは激ウレです。

という話を授業でしたところ、何人かの生徒たちがどこからともなく「羽衣チョーク」を見つけては、私にくれるようになりました。教室に「羽衣チョーク」が並べられていた日もあれば、職員室の私の机にいつの間にか置かれていた日もありました。そのたびに、私は非常にあたたかい気持ちになりました。わざわざチョークを見つけて届けてくれる優しさがうれしかったのです。

そして今、私の机の中には、1 センチくらいの「羽衣チョーク」が 4 本あります。短すぎて授業では使えないので、捨てようかと思いましたが、なぜか捨てられません。それとは別に、5 センチくらいの「羽衣チョーク」が 2 本あります。まだ授業で使える長さですが、なぜか使う気になりません。机の引き出しを開け閉めするたびにコロコロ転がる 6 本のチョークを見て、いつもニヤニヤしてしまいます。ということで、たまに職員室でひとりニヤついています。そっとしておいてください。単に、チョークを見てイ気分になっているだけです。